

撮影:加藤栄

茨城県には東海村に東海第二発電所(東海第二原発)があり、1978年に運転を開始しました。 東日本大震災以降、運転は停止。現在、再稼働へ向け準備が進められています。 つくば市から約60kmに位置し、半径30km圏内には全国最多の94万人が居住。

今回講師にお迎えするのは、<mark>徹底的な「調査報道」と「公文書公開</mark>」により原発 行政の根幹に迫り、数々の著書を発刊してきた元毎日新聞記者の日野行介さん。 現在は、原発を見つめ続け、新刊「原発再稼働 葬られた過酷事故の教訓」では、 東海第二発電所の避難計画の虚構性にも言及しています。



福島原発事故から12年。政府は原発を60年以上使用する方針を発表。 電力不足キャンペーンで原発再稼働支持が広がっています。 私たちのおかれている状況と未来について、今一度、見つめなおしてみませんか?

とき:2023年4月9日(日)14:00~16:30

ところ: つくば国際会議場エポカル大会議室102

(つくば市竹園2丁目20-3)

資 料 代:300円

主催 : いばらき原発県民投票の会共催 : つくば・市民ネットワーク

申込・お問合せ: 事務局 北口(090-9373-4100)

※コロナ等の状況で人数制限も予測されます。事前予約をお願いいたします。

※お車の方は会場周辺の有料駐車場をご利用ください。



↑こちらからでも 申し込みできます。

いばらき原発県民投票の会って?

大震災以降は稼働を停止していますが、現在安全対策工事が行われてい 茨城県の東海第二原発は、1978年に営業運転を開始しました。東日本

ます(2024年9月終了予定)。

原発の存廃は、県民の生活に大きな影響を及ぼします。再稼働には周辺6市村と茨城県の同意が必要ですが、その判断には、広く県民の意思を確

認することが必要だと思われます。

表すことができる「県民投票」をめざしています。 そこで私たちは、県民同士が話し合い、一人ひとりがそれぞれの選択を

東海第二原発って?

- 数城県東海村にある、 稼働から40年以上経過した原発。
-)半径30km圏内に、全国最多の94万人が居住。
-)3.11のときは福島第一原発のような過酷事故の一歩手前に。
- 双方が控訴し、 2021年3月、水戸地裁で東海第二原発の運転を差し止める判決が出ました。 現在東京高裁で裁判が続いています。
- 2023年2月28日、 法案を閣議決定。 岸田首相は原発を60年を超えて運転できるようにする

直接、 自分の意見を表明できる「県民投票

同じ投票でも「選挙の投票」は、自分の意見を代弁してくれる人を選びますが、「県民投票・住民投票」は、自分の意見を直接表明できる、法に定められた主権者が持っている重要な権利です。

命や財産に関わる重要な事柄については、直接自分で決めたいと思いませんか?_____

それを実現する方法の一つが「県民投票・住民投票」です

東海第二原発の再稼働については、直接自分たちで決めたいと、 県民投票を呼び掛けてきました。

原発県民投票は、どうなった?

した。 2020年1月~4月に県内全域で86,703筆の署名を集め、直接請求を行いました。しかし、県議会で条例案が否決され、県民投票は実現しませんで

定)に安全工事が終わり、1.安全性の検証、2.実効性ある避難計画の策定、3.県民への十分な情報提供の三条件がそろわないと、意見を聴く方法は 決められない」というものでした。 反対の理由は、 「県民の意見を聴くことは必要だが、2022年12月(当時予

それを受け、あきらめず原発県民投票の実現へ向け、引き続き活動して

もう一度!原発県民投票の直接請求を

当会は、条例案の否決後も、毎月15~20人の世話人がオンラインで集まり、これまでの活動を振り返り、今後の活動について話し合ったり、随

時情報共有を行ってきました。 また、得られた情報の発信や学習会を開催し、 情報をお届けしてきました。 受任者はじめ多くの方へ

- ▶─人ひとりの意思形成のための対話と学びの場や県民投票カフェの開催 ●東海第二原発に関する情報収集
- ●県議会ウォッチング

)テーマ別部会

- ●若槙のようてレークレへこ
-)再度の直接請求に向け受任者募集 等

皆さんの参加をお待ちしています!

いばらき原発県民投票の会

代表:鵜沢恵一 E L: 080-2261-4980 事務局長:富岡

e-mail: ibarakitohyo@gmail.com website : https://ibarakitohyo.net

、原発



webはコチラから